

福岡教区の「宣教司牧方針」について

1. 「宣教司牧方針」とは何ですか。

教区の歩みを導く道具です。目的は、いうまでもなく、一人一人が信仰を深め、教会が福音を証しし伝えることです。それを助けるために、「宣教司牧方針」を作られます。

今まで大事にされてきたことを受け継いで、現代において特に何を大事にすべきかを見極めて決めます。

「宣教司牧方針」が最終的に発表されたら、それぞれの状況や事情によって方針に基づいて各小教区、グループ、事業等における具体的な実行の道を探ることになります。

2. 「宣教司牧方針」をどのように作るのですか。

皆で作ることは大事です。みんなの歩みを導くからです。

私たちの教区では、まず各小教区、修道者の共同体、委員会、事業等から意見を求めました。作業委員会を作って、いただいた意見をまとめました。

「宣教司牧方針」を作るには、皆からいただいた意見だけでは足りないのです。それに教皇様が示しておられる方針、また、日本の教会から出されている方針等を反映させなければなりません。

作業委員会の結果は、「案」として皆さんに送り、現在それについての意見を求めています。

3. 他の教区にも「宣教司牧方針」がありますか。

それがあある教区とない教区があります。別の名前と呼ばれる場合もあります。「教区計画」、「教区のビジョン」等です。各教区で何らかの形でこういうような「方針」を作るように勧められています。短い文書にまとめられているものがあれば、100 ページ以上の本になっているものもあります。様々です。

私たちの場合は、出来るだけ皆さんからいただいた意見を入れてみました。それで、少し長く感じるかも知れませんが、最初からせつかく寄せられて意見を省くことを避けてみました。委員会としては、もう少しまとめたものにして行きたいと思います。

4. これからどうなるのでしょうか。

皆さんの「宣教司牧方針」の案についての意見をいただいて、内容を見直します。そして、来年の早いうちに最終的に発表されることになっています。

その後、各地区、小教区、委員会等で、「宣教司牧方針」をどのように実行していくかを皆で話し合っ、特にどういいうところに力を入れるかを決めていくはずです。

5. 「宣教司牧方針」に提案されていることのほとんどはもうすでにやっていますが。

それなら、それらを深めて行けばいいでしょう。皆さんの方から提案されたことですから、もうすでにやっていることが出てくるのは当然でしょう。新しい提案もありますが、それらも協力しながら実行していかなければなりません。

6. 2027年に福岡教区設立の100周年になります。「宣教司牧方針」と100周年との関係はどうなっていますか。

100周年の祝いは「宣教司牧方針」を実行するための励ましになるでしょう。現在社会の諸課題に応える教会として成長することが一番大事です。

皆さんにお願いしているアンケートの最後に、福岡教区設立100周年を祝うための提案を求めています。